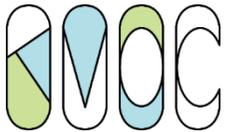


ピー アール ピー

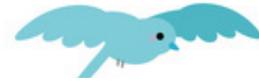
PRP療法のおはなし

なかなか治らないひざ痛の方や
けがをしたアスリートの方へ
新しい治療のご紹介です。



PRP療法のおはなし もくじ

1. PRP療法とは
2. PRP療法が効果的な疾患
3. PRP療法の方法
4. 治療前の注意点
5. 治療後の注意点
6. 治療後の流れ
7. 費用について
8. PRP療法のメリットとデメリット



1.PRP療法とは

ピー アール ピー たけっしょうばんけっしょう

PRP（多血小板血漿）療法

患者さんご自身の血液から生成したPRP（多血小板血漿）を傷んでいる部分に注射することにより、

自分で自分を治す力（自己治癒力）を促すことで
治癒促進や痛みの軽減をもたらす治療法です。

炎症、痛み、関節機能の改善や、慢性化した関節痛にも効果が期待できます。

1.PRP療法とは

血小板の主な働きは2つあります。

◎ 「血液を固めるはたらき」

◎ 「組織の修復を促す成長因子を出すはたらき」

PRP療法では

「組織の修復を促す成長因子を出すはたらき」
を利用します。

1.PRP療法とは

たとえば、
切り傷で出血した後、
しばらくすると血が止まり、傷口には
かさぶたができて自然と塞がっていきます。

捻挫（ねんざ）をしたときには、患部が腫れ
そのうち青くなり徐々に腫れは引いて治ります。

傷んだ組織や関節の中にPRPを
注射することで、
自己治癒力をサポートして、
治癒促進や痛みの軽減を図ります。



2.PRP療法が効果的な疾患

①変形性膝関節症 (ひざの変形に伴うひざ痛)

変形の進行に伴い、軟骨がすり減ったり、半月板が傷んだり、炎症が起きてひざに水がたまったりします。

PRPは、こうした組織の修復を促したり、関節の炎症を抑制したりする効果があります。



痛み止めの内服やヒアルロン酸の注射などの薬物療法で痛みが取れない方でも、
PRPの注射により痛みが取れることがあります。

2.PRIP療法が効果的な疾患

②スポーツ外傷・障害 (肉離れや骨折など)

肉離れや骨折などのスポーツ外傷は、
1回の外力で突発的に発症する怪我です。

いつかは治る怪我ですが、
重傷度によっては治療期間に
2～3か月かかってしまう場合もあります。

PRIP療法を行うことで、治療期間を短縮させ、
怪我からの**早期復帰を目指す**ことができます。

2.PRIP療法が効果的な疾患

②スポーツ外傷・障害 (アキレス腱炎など)

アキレス腱炎などのスポーツ障害は、一定部位に繰り返しの負荷がかかることによる慢性的な損傷です。

痛みを我慢してスポーツを継続することで難治性（治療を行っても治りにくい状態）に陥りやすい怪我です。

PRIP注射により、損傷部位の本来の修復力を復活させ、**怪我の治癒を目指します。**

3.PRP療法の方法

①診察

注射の種類や注射部位、費用など、
医師がカウンセリングを行い、具体的な
方法を決めていきます。

患者さんそれぞれの病態に合わせて、
PRPの種類や注射部位などを
変えています。



3.PRP療法の方法

②採血

PRP療法では、まずPRPを作成するための血液を患者さんから採取します。

採血量は病院によって異なりますが、当院では約60ccの血液を採取します。

ベッドやリクライニングチェアなどで楽な体勢になってもらい、採血します。



3.PRP療法の方法

③分離

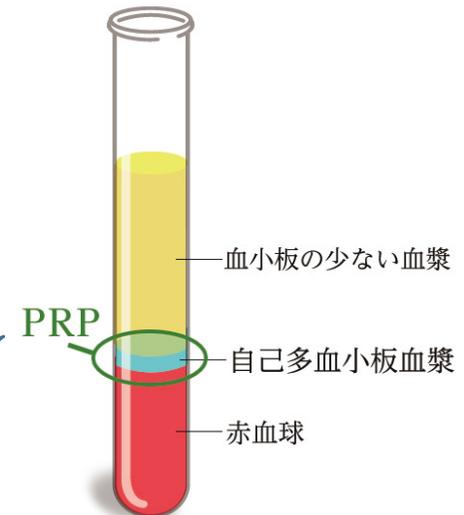
採取した血液を遠心分離機にかけてPRPを抽出します。



分離作業には30分ほど時間がかかります。
その間は、別室で休みながらお待ちいただきます。

遠心分離後

この部分を抽出して
使用します。



3.PRP療法の方法

④投与

抽出されたPRPを患部に注入します。

通常のひざのヒアルロン酸注射や
トリガーポイント注射と
ほぼ同じ方法で注射します。

3.PRP療法の方法

⑤安静

注射後、約20分ほど安静にして頂きます。

患部にPRPがとどまるようにしながら安静にします。

注射後痛みが出る場合は、
患部を冷やします。

4.治療前の注意点

2～3週間前

◎ステロイドや抗凝固剤の**服用を調整**する。

お薬の調整は医師が行いますので、
服用状況についてご相談下さい。

1週間前

◎鎮痛薬（ロキソプロフェンなど）の**服用を中止**する。

服用可能な鎮痛薬もあります。
鎮痛薬については医師より説明します。

24時間前

◎水分をいつもより**多め**にとる。



5.治療後の注意点

◎無理をせず、**安静に**して過ごしましょう。



◎激しいトレーニングやマッサージは**控えましょう**。

◎お酒とタバコは**控えましょう**。

個人差はありますが、早い方では治療後1週間ほどで効果が現れます。
効果が最大になるのは、約3~6ヶ月とされています。

6.治療後の流れ

<翌日～1週間>

注射後3～4日は細胞の活発な代謝が行われるので腫れやかゆみ、赤みや軽い痛みなどがありますが、その後自然に消失して行きます。

痛みのあるうちは、患部をよく冷やします。
痛みは**1～2週間で引いてきます。**

<3週間～4週間後>

一度診察を行い、経過をチェックします。

痛みが強くなる、腫れが引かないなど不安なことがあれば、早めに受診して頂きます。

7. 費用について

保険が適用されない自由診療の治療です。

当院でPRP療法を受ける場合は、
1回の治療につき約3～30万円
(注射部位とPRPの種類により異なります)
となっています。

8.PRP療法のメリットとデメリット

メリット－副作用が少ない

患者さん自身の血液によって組織の修復を促す治療であるため、副作用が少ないことが大きなメリットです。



デメリット－金銭的負担が大きい、治療効果に個人差がある

患者さんの治療費の負担が大きくなります。
また、患者さんによっては治療が効かないことがあり、個人差が生じやすい治療法です。

PRP治療のことで、聞きたいことや
分からないこと、治療希望などありましたら、
ご遠慮なく、診察時に医師へご相談下さい。

